

一般国道185号呉市仁方地区みちづくり協議会

国道185号（仁方地区）の道路整備の方針について提言しました。

「一般国道185号呉市仁方地区みちづくり協議会」（会長は藤原章正広島大学教授）は、第5回の協議会（平成18年3月20日）で、国道185号の同地区の道路整備の方針を提言書にまとめ、呉周辺幹線道路網整備連絡協議会幹事会の幹事長（上田敏 広島国道事務所長）に提言しました。今後は、この提言内容を踏まえながら道路整備の検討を行っていきます。

くれこく

国土交通省
広島国道事務所
呉国道出張所
呉市広本町
1丁目5-33

TEL 0823-73-4798
FAX 0823-73-9414

提言書

一般国道185号呉市仁方地区の道路整備の方針に関する提言書

本区間の道路整備については、左記のとおり進めることを提言する。

一、北側バイパスルート帯内での道路整備を提案する。

（別紙1参照）

二、北側バイパスルートの検討の際には、市道西神三坂地線と接続することも提案する。なお、接続の方法は、平面交差が望ましい。（別紙2参照）

市道との接続にあたっては、安全性、利便性、沿道環境への影響、地域活動への影響、事業性などを総合的に検討の上決定されたい。

三、歩道の設置については、安全性及び利便性を考慮して必要な箇所を整備すること。（別紙3参照）

なお、設置の区間、方法については、市道の接続方法と関連させ、地域住民が有効に活用できる形態について、安全性、利便性、沿道環境への影響、地域活動への影響、事業性などを総合的に検討の上決定された。

一、道路整備を行う際には、次の事項に留意のうえ進行すること。

（別紙4参照）

・野呂山からの湧水を利用する伝統的な地場産業施設への影響を考慮した道路整備の検討を行うこと。
・地域活動の利便性向上を図るため、国道185号現道並歩道の歩道の改修も行うこと。

平成十八年三月二十二日

一般国道185号呉市仁方地区みちづくり協議会

会長

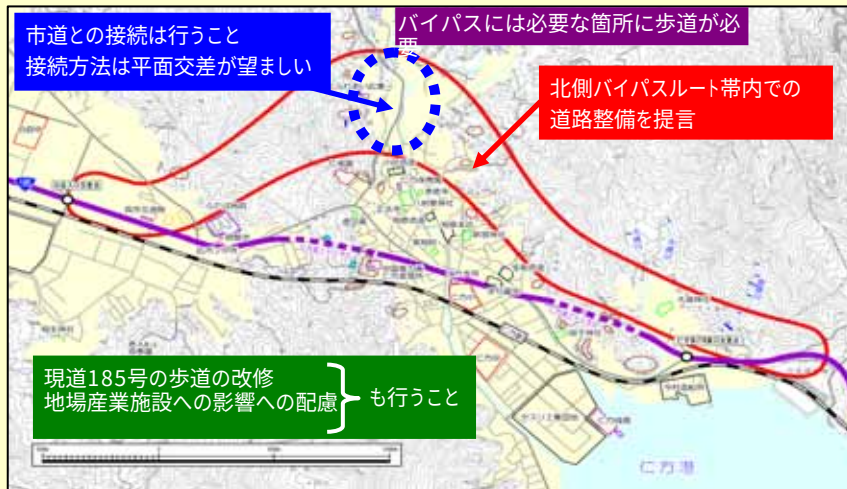
藤原章正

以上

提言内容（概要）



去る3月22日に提言されました。



呉市は、交通バリアフリー法に基づいて、平成13年に「呉市移動円滑化構想」というバリアフリーに関する指針を全国でも3番目に始めた自治体です。5年目を迎えた呉市の今の状況と今後の課題について、RCCのラジオ番組「ちょっとひといき より道ばなし」が取材にられました。

呉駅前バリアフリー 現状と課題について

取材ではバリアフリー研究会会長の森勝利さんと、呉国道出張所技術係長の山本が「バリアフリーの現状と課題」について説明しました。呉駅前でのバリアフリーは、ハード面での整備はされていますが、呉そごう前の自転車の違法駐車などのソフト面での問題があり、市民の皆様のご理解も必要となってきます。呉国道出張所では引き続き残った区間の整備も進めていきますので、皆様のご協力も宜しくお願い致します。

